

ご意見用紙

玄海原子力発電所に関する県民説明会

※この用紙は、記入後エントランスホールの回収箱にご投入ください。
 ※本日、回収箱への投入が難しい場合は、裏面記載の県内各地に設置しています県政提案箱にご投函いただくことも可能です。

* なお、ご記入の前に裏面の〈お願い〉をお読みください。

テーマ	★該当する項目をチェックしてください（複数選択可）。 <input checked="" type="checkbox"/> エネルギー政策に関すること <input type="checkbox"/> 原子力安全対策に関すること <input type="checkbox"/> 原子力災害対策に関すること <input type="checkbox"/> その他
① 安全神話のもと原子行政がすすわらへてきたが、世界各国、日本でも大きな福島の事故が起きた。いざ事故は甚だしく、チェルノブイリやスリーマイル島の事故と同様なものが日本でも必ずおこると指摘されおかしな。使用済核燃料の最終処分方法、場所も決まらずに（決められない未熟な知識）見切り発車の結果です。福島の事故も理（原子炉核燃料）処分、除染等々）も終わっていない中で、再稼働するのは過剰なコストで、国民の不安を煽るものになっている。台湾では福島の事故は学び、2011年には全廃すると決めている。当事者国として原発もさらに推進してゆくは全くおかしな。『経済性効率性』も言わゆる電力会社にとりては電力料金は費用を上乗せできる政策で事故おこしても負担なし。廃炉賠償、避難、生活説明会等々莫大なお金がかかっている。安全試験とやらは事故点検のために停止している。全くウソであることは明確。全廃すべき。	

会場名に○をつけてください⇒

唐津 ・ 武雄 ・ **佐賀** ・ 伊万里 ・ 鳥栖

